

# 洗剤の種類と効果

年末、大掃除のシーズン到来です。大掃除に取り掛かる前に、洗剤の種類と効果をご紹介します。どこのどんな汚れにどの洗剤がいいかを知ることによって無理なく安全に汚れを落とす技を身につけ、きれいになった部屋で新年を迎えたいものです。

## 中性タイプは、安心して洗浄力がマイルドな洗剤

**主な用途** 食器、台所、浴室用など。  
塗装面・金属・石材にも変色なく使用可

酸やアルカリではなく界面活性剤のみの働きで汚れを落とし、日々のお手入れ的な掃除に最適です。素材を傷める心配も少なくてすみます。薄めたらフローリングの汚れ拭きなどにも効果的。安全性は高いのですが、使用後はきれいに水拭きしましょう。



## 弱アルカリ性は、ガンコな汚れと油汚れに

**主な用途** 手あか程度の油汚れ、ヤニ汚れなど  
中性洗剤では落としきれない汚れ用

手あか程度の油汚れやヤニ汚れなど、中性洗剤で落としきれない汚れに使います。肌の弱い方は、手袋着用がおすすめです。傷んだ塗装面やフッ素コートははげることがあり、アルミなども変色することがあるので注意が必要です。



## アルカリ性は、建材にも人体にも注意が必要

**主な用途** 換気扇・レンジフード・厨房の油汚れ、  
カビ取り、パイプ洗浄、キッチン用具の漂白

使用の際は、必ずゴム手袋を着用。油汚れやガンコな手あかを分解して落とす強力な洗剤。塗装面では、剥離、変色する場合があります。使用後のすすぎは念入りに。浴室のカビ取り、キッチン用具の漂白剤もアルカリ性で、使用後は必ず喚起を。酸性と同時使用不可。



## 酸性は、塩酸などの酸材が主成分の強力な洗剤

**主な用途** 便器の尿石、水あかなどトイレ用洗浄、  
鉄さびの除去、浴室の石鹸カス用

トイレ用洗浄剤としてよく使われています。金属や人造大理石、タイル・目地などを傷めるのでキッチンや浴室には向きません。散布して時間を置いた後にブラッシングすると効果が上がります。塩素系漂白剤との併用は危険なのでやめましょう。



一緒に使わない  
ようにしましょう!

塩素系洗剤

+

酸性洗剤

= 塩素ガスが発生して危険!

アルカリ性洗剤

+

酸性洗剤

= 中和作用で効果減少

バックナンバー

『194号 お部屋にやさしい掃除』『208号 カーペットのお手入れ』『242・243号 おばあちゃんのおそうじ知恵袋』『254号 とっても簡単! すっきりキレイ! プロに教わる大掃除術』『266号 頑固な汚れ、これでさよなら! バスルーム掃除術』もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。